

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌 名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	26 / 2009 / 37-40
タイトル	ネット回顧談義 シンジュ・オンコから新制青高草創の頃 (補遺・その1)
著 者 名	編集部

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

ネット回顧談義 2

シンジュ・オンコから新制青高草創の頃(補遺・その1)

編 集 部

はじめに

ことし2009年1月発行の会報25号(20～30頁)に、「シンジュ・オンコから新制青高草創の頃」を掲載しました。それは、さまざまな資料や個人所蔵の写真を客観材料として、会員諸氏のEメールを利用した話し合いでした。後者は記憶を辿るもので、もちろん思い違いも出てきます。これについてはメールのやりとりを通して正しいと思われるものを採用し、なおもハッキリしないものは無理矢理の結論は避けてきました。そして文頭には、「あらかじめお断りしたいことは、記憶違いがあるかも知れない、いやいっぱいあるでしょう。お気づきのことはお知らせいただき、また写真資料などをお持ちのかたには提供をお願いし、本会報の続号で紹介したいと思います。」と記しました。

この記事には、色々な反響がありました。メールでの追加書き込みも寄せられました。いずれも貴重な証言です。役員会で相談のうえ、冠タイトルの「ネット回顧談義」をそのまま活かし「補遺」としてまとめることにしました。冠タイトルは、今後このような有意義なテーマが出てきたとき利用する、ということです。

なお、このような試みでは写真は重要な証言資料となります。今回も前号掲載の写真を元にした説明が出てきますが、その場合は写真○×(前号、頁)のような表示をしました。前号掲載の写真は1から13まであり、さらに関連記事の「目で見える青高キャンパス周辺の環境変遷」(前号3～19頁)の写真も併用されている場合があります。その場合は写真○×(青高キャンパス、頁)のような表示をしました。ご面倒でも前号の写真も見ながら読み進んでください。

今号の「補遺、その1」には、メーリング・リスト(ML)での書き込みは平成20年12月18日から平成21年1月30日まで寄せられたものです。この企画では、引き続き証言を受付け「補遺、その2」も予定しています。

シンジュの木について

室 谷 きう会報25号の発送作業のあと、恒例の飲み会を兼ねた役員会を行いました。と言っても、いつも真面目な話で夕方5時に始まって夜10時まででした。6月発行の会報26号の内容とか、先般、お騒がせした「ネット回顧談義」では補遺編を出すということが決まりました。天内さん、本場?ドイツのシンジュ情報があるそうですが。

天 内 シンジュのドイツ語スペルはやはり「Gotterbaum」だそうで、読み方は「ゴッタバウム」でいいみたいでした。私の流域環境保全仲間にTerukoさんという女性がいて、ドイツの友人に問い合わせてくれました。内容的にはわれわれがインターネットで検索したものと大同小異ですが、少なくとも林業関係の事典に出ていた「Goterbaum」はtが1つ足りず、本場ドイツの用語とは違っているようです。

興味深いのは、このGotterbaumが中国・韓国原産とあること。原産地がアジアなのに、

「天まで届く木」だからと、英国で「Tree of Heaven」と訳され、それがドイツで「Gotterbaum」と変わって、ドイツ由来の日本の林学では「神の樹」となった…。面白いものです。牧野さんの植物図鑑には中国原産とはあるけれど「Tree of Heavenが神樹と訳された」とあるだけです。また、樹皮や実には毒があるとは知りませんでした。牧野図鑑にもこれは出ていません。ドイツ人はよく調べている…ということでしょうか。

ちなみに、TさんによるとGotterbaumのGotterはGottの複数形、つまり「神々の木」だそうで、「一神教のイスラムなどと違って、ドイツでは八百万の神なのだろうか」と問い合わせ中です。なお、ドイツ語なんぞは半世紀以上まったくお付き合いがなくて、私の手元にはポケット判の独和・和独があるっさり。その辞書に出ていない単語がいっぱいあって、お手上げでした。植物の部位名程度はあてずっぽうで少しはわかるけれども、メール文中のEnkelkinderだ、Urenkelkinderだとなれば、EnkelはOnkelだろうからおじさん子ども？、フンフン、「いとこ」、「はとこ」のたぐいだろうか…などと、頭の運動をさせられました。お閑でしたら遊んでみてください。

三四郎池について

室 谷 私たちは、このMLで昔の五連隊兵営絵図・図3(青高キャンパス、8頁)の各建物にAからGまでの記号を付けてケンケンガクガクやっていました。お姉さん(天内さんの)が当時の青高女にいらったそうですが、是非ともこれらを見せて何か情報がありましたら教えていただければ嬉しいです。もう1枚、五連隊の将校が集会所に使っていたところの写真(1)、不鮮明ですが見つけたので添付しました。手前が「池」になります。これを眺めるかたちで建物があります。青高女がここにきたとき、この建物はあったのでしょうか。あったとすれば校舎として何に使用したのでしょうか。お姉さんのご記憶の範疇だと思いますが、別に急ぎませんのでよろしく願います。さまざまな角度からの記録とか証言は貴重なものと思います。



[写真1] 五連隊の将校集会所。建物に囲まれて手前に池があり、これが初代「三四郎池」(撮影年代不明)

天 内 絵図の写真を見て感動しました、こうであったのかと。F棟から初代三四郎池付近にかけての建物は、昭和22、23年頃に、合併前の旧青高女が使っていて、私の姉も田圃道の吹きさらしを通っていました。男子生徒には禁制の場所で、文化祭の折りか何かに1度だけ、入った記憶があります。ということで詳しくは、また新しいことが分かりましたらお伝えしましょう。

キャンパス回想

天 内 五連隊の兵営絵図が明治33年の作成とあり、われわれが移るまでの半世紀の間には、かなりの増・改築等があったと思われ、E、F棟の北側にはかなりの数の建物がありました。左右にまっすぐ走る並木道はすでになかったようです。G、H棟がなかったのは、駐留軍の出火だったということですね。

高1のころ使った階段教室は、C・D棟前の植込みを下にたどった屋根の高い建物のようで、確か駐留軍がPXに使っていたと聞いたことがあります。50～60人ほどの小さな部屋でしたが、後ろの方の天井はさして高くはなかったです。最後部席からロケット花火を飛ばすと教卓の前で正確に爆発するのが面白くて、若い教師をからかった悪童がいました。

五十嵐(正俊) 情報の整理などご苦労様です。何せ60年以上前の古い時代の話なので記憶も断片的ですが、いくらか追加します。

佐々木誠造氏(前青森市長)が木造中学から転校してきてから、一時「自動車クラブ」創設の機運があり、三菱扶桑のトラックを校庭に持ち込んでデモをやったこともありました。その後、この話は進展しなかったと思います。場所は教員宿舎に使われていたB棟近くの校庭でした。頑丈な車体と大きなタイヤにびっくりしたことが記憶に残っています。

それから、高1から高3の担任は岡本省三先生(体育の時間はほとんど「ソフトボール」)で、当時の高校生は喫煙、飲酒はかなり普通で、岡本クラスになってからは年末のクラス会などクラス全員で相当の酒(当時は澄まし酒)を飲んだようでした。

天 内 皆さんの文章を読ませてもらい写真を見ていると、またいろいろ思い出されてきますが、キリがありません。ある程度は曖昧模糊としている方がいいのかも知れませんね。たとえば、その後出来たプールの位置にあった階段教室。これはB棟とは別な、平屋建ての一部でした。B棟は1、2階とも全て教員住宅で、生徒の立ち寄り厳禁されていましたが、松原パパ(勤)先生宅だったかを入口からチラと覗く機会があって、こんな天井の高すぎる部屋は住みにくいだろうなあ、と思った記憶があります。A棟も教員住宅で、当時ここには今井校長がおられたと思います。

教員住宅はもう1棟作られたようで、写真7(前号、26頁)の一番北側の隅にあった平屋の作業小屋?が改装されました。この1室には同期の松橋君の一家が入っていました。お父さんが青高女の教師でした。松橋君に聞けば、キャンパスの往時が今少しわかるかも…。

どうやら「棟」の呼び名は2階建の大形の建物にだけ付けていたみたいで、階段教室があったような平屋建ては「棟」とはしなかったようですね。初代三四郎池のそばにも平屋建はいくつか、びっしりと並んでいました。なお「棟」はA～H以外にもいくつかあったはずで、昭和23年の文化祭3日目の夜に火が出た棟は、写真7(前号)の、E棟の北側(北口との間)に写っているものではないでしょうか。

当時は生徒たちが泊まり込みで文化祭の準備を続けていて、電灯の配線を科学部の先輩

が(勝手に)行っていましたから、ことによると素人工事のドジによる漏電だったのでは、などと密かに恐れていました。私も生物部員兼科学部員だったから、口が裂けても…でした。

なお、写真8(前号、26頁)は私が卒業した後のものですが、番号の1の左がD棟、2の位置がC棟跡ではないでしょうか。生物教官室は2のシンジュの幹と向かい合っていたように思います。6が五十嵐君の言う営倉、5の数字の下あたりに、階段教室のあった平屋建てが…。8は、間違いなくオニコの植込みです。記憶をたどるいい手がかりをつくっていただいて感謝しています。



[写真2] 青高校舎となった兵営校舎の焼失跡(焼失は1948年10月25日)

室 谷 ご教示ありがとうございます。この前、最初の青高が使った校舎の焼失という話が出ましたが、そのときの写真(2)がありました。「無限の青春」(1982年、青高昭和27年卒業30周年記念誌)に出ていたものです。この写真はどこから撮ったものでしょうか。左手の樹木が気になります。前方右側の建物はG棟に当たるのでしょうか。A棟の本部であれば建物の形状(屋根中央に三角の突き出しがあった)から違うのではないかと。何か分かりましたら教えてください。

あとがき

このようなかたちで、会員諸氏のご記憶から何かありましたら、お寄せください。続号に載せたいと思います。